

【事業完了後】沖縄振興特別推進市町村交付金事業
事後評価一覧

令和元年11月

那覇市	1	嘉手納町	11
宜野湾市	2	北谷町	12
石垣市	3	北中城村	12
浦添市	3	中城村	13
名護市	4	西原町	-
糸満市	5	与那原町	13
沖縄市	5	南風原町	13
豊見城市	6	渡嘉敷村	14
うるま市	6	座間味村	14
宮古島市	6	粟国村	14
南城市	7	渡名喜村	-
国頭村	7	南大東村	14
大宜味村	-	北大東村	15
東村	8	伊平屋村	-
今帰仁村	8	伊是名村	15
本部町	9	久米島町	15
恩納村	-	八重瀬町	16
宜野座村	-	多良間村	16
金武町	9	竹富町	16
伊江村	10	与那国町	-
読谷村	11		

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
 「R1年度以降に効果発現する事業」・・・「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	H30年度成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1 6	後年度	桜の名所づくり事業	H24 ～ H29	日本一早い沖縄県の桜まつりが那覇市首里地区においても実現し、観光客の誘客・まちの活性化を図るため、桜の名所として寒川緑地に桜を14本植栽する。	R1	観光客を含む来園者へのアンケートを実施し、観光地としてふさわしい景観であるか80%以上	-	-
01 那覇市	1 21	後年度	市民体育館イベント誘致機能強化事業	H24 ～ H33	那覇市民体育館のサブアリーナ重荷重対応床面整備工事及び公式バレーボール器具(ボール・ネット・防護カバー等)2セット購入を実施することで、同施設の充実・強化を行い、各種スポーツの全国・九州大会等の大規模大会やバスケットプロリーグ戦等の誘致、開催を図る。	H30	全国・九州大会等の大規模大会開催誘致 8件	全国・九州大会等の大規模大会開催誘致 9件	◎
01 那覇市	1 35	後年度	那覇市民泊施設実態調査事業	H29	住宅宿泊事業法施行に伴い、本市においても条例等で規制するなど、現状把握を行い検討する必要があるため実態調査を実施。 現状では相応の手間やコスト等を要することから無許可の民泊が少なからず提供されており、住民・観光客の双方にとって安全・安心な観光地作り及び観光施策を進める上での基礎資料を得るため、民泊実施施設数、許可・無許可の別や、またサービス提供者及び利用者等の声などについての調査を実施する。	H30	住宅宿泊事業法に関連する条例等の制定	住宅宿泊事業法に関連する条例等の制定	◎
01 那覇市	3 9	後年度	那覇市IT創造館基盤整備事業	H28 ～ H29	平成15年から供用開始されている那覇市IT創造館について、さらなる企業立地促進、立地企業の高度化・多様化、人材の育成・確保を図るために空調設備工事、4階インキュベーション増設工事を実施する。	H30	入居率 100%	入居率 100%	◎
01 那覇市	3 15	後年度	国際通りトランジットモールビジョンづくり支援事業	H29	観光客の誘客及び地元客の呼び戻しを図り、中心商店街の賑わいを創出するため、今後の国際通りトランジットモールのあり方について、アンケート調査や商店街等関係者による会議等を開催、ビジョンを策定し、商店街の活性化と商業の振興を図る。	R3	賑わい創出に向けた取り組み(オープンカフェや夜市等)の実証実験を行い、取り組みに対する満足度をアンケート調査を実施し、満足度80%	-	-
01 那覇市	3 16	後年度	商店街アーケードビジョンづくり支援事業	H29	誰もが安全・安心・快適に買い物や散策が楽しめる魅力ある中心商店街の商環境整備のため、老朽化したアーケードの権利関係や現地調査、関係者へのアンケート調査などを行い、商店街関係者によるアーケードビジョンづくりを支援する。	R5	平和通り商店街の老朽化したアーケードの撤去、代替案の整備開始	-	-
01 那覇市	6 19	後年度	電子黒板整備事業	H29	沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、小学校に電子黒板を整備し、児童の興味関心を引き出し集中力を高める、分かりやすい授業環境を整える。	H30	第5学年の児童・教員へのアンケートを行い、「授業が分かりやすくなったと回答した割合」と、「効率的・効果的な板書や資料提示ができた」と回答した割合が、それぞれ80%以上	児童:88% 教員:71%	○

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R1年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	H30年度成果実績(指標)	評価
01 那覇市	7 10	後年度	文化芸術発信拠点施設整備事業(パレット)	H24 ～ H29	幅広い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動等の場を提供するため、パレット市民劇場の舞台照明設備デジタル化工事、舞台音響システム強化工事、カメラシステム強化工事を行い、施設機能の強化を図る。	H30	パレット市民劇場利用者数:62,900人	パレット市民劇場利用者数:50,624人	○
01 那覇市	3 12	後年度	牧志公設市場(衣料部・雑貨部)活性化基礎調査	H28	牧志公設市場(衣料部・雑貨部)の活性化を図ることを目的とし、施設利用状況等の把握、利用者実態調査等を踏まえ、今後の課題及び方向性を検討するための基礎調査を実施する。	R3	通行量(牧志公設市場衣料部前):6,000人	当該基礎調査及び本市のファシリティマネジメント推進方針等に基づき、牧志公設市場(衣料部・雑貨部)の今後の方向性の検討	-
01 那覇市	4 2	後年度	冷凍冷蔵コンテナ用電源整備事業	H28 ～ H29	新港ふ頭の国産コンテナターミナルには、冷凍食品等低温輸送用コンテナのため、既存のリーファー電源が設置されているが、年々増大している冷凍冷蔵コンテナ需要に対応するため、さらなる増設を行う。	R3	那覇港のリーファーコンテナの取扱貨物量:76万トン	那覇港のリーファーコンテナの取扱貨物量:71万トン	-
01 那覇市	4 3	後年度	那覇港(泊ふ頭)陸上電力供給施設整備事業	H28	離島航路の維持・改善及び離島振興に向けて、排出ガス削減、騒音抑制を図るなど良好な港湾環境の改善をはかるため、泊ふ頭に陸上電力供給施設を整備する。	R3	船舶運航事業者へアンケートを行い、観光客を受け入れる港として快適な環境が確保されていると感じるか 80%以上	-	-
01 那覇市	5 2	中期	津波避難ビル建設事業	H24 ～ H26	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、海拔の低い若松市宮住宅跡地(那覇市松山2丁目22番1号)に避難困難者のための津波避難ビルを建設する。	H30	・施設利用者数(年間延べ人数):40,000人 ・防災訓練等防災イベントの実施回数:5回	・施設利用者数(年間延べ人数):43,558人 ・防災訓練等防災イベントの実施回数:3回	○
02 宜野湾市	11	後年度	宜野湾市情報通信産業振興施設PFI基本構想・事業手法検討調査事業	H29	本市の既存インキュベーション施設(宜野湾ベイサイド情報センター)と一体的に連携する新たな情報通信産業振興施設の整備について、必要な基本構想を作成し、官民連携(PFI手法等)も含めた複数の事業手法について可能性調査を実施する。	R7	基本構想の作成完了	完了	-
02 宜野湾市	12	後年度	基地関係映像等資料作成事業	H29	市の中心部に普天間飛行場を抱える本市の実情を、正確に分かりやすく対外的に発信するために、新たに映像等の資料を作成する。映像等で本市の実情を発信することにより、多くの人に普天間飛行場返還合意の原点と、返還の必要性への理解を深めてもらい、普天間飛行場の早期閉鎖・返還に繋げる。	H30	作成した映像資料の視聴者数30人	120人	◎
03 石垣市	1 ⑨	後年度	闘牛場改修事業	H29	八重山の伝統文化である「闘牛」の発展を図るため、老朽化した闘牛場の改修支援を行う。	H30	闘牛大会開催の増 6回	闘牛大会開催の増 3回	未

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R1年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	H30年度成果実績(指標)	評価
03 石垣市	2 ③	後年度	歩行者ならびに自転車空間ネットワーク整備計画策定事業	H29	歩行者ならびに自転車空間ネットワーク整備計画書の作成を行う。	H30	本事業の整備計画に基づき各種施策を実施する。	各種施策の展開を実施した。	◎
03 石垣市	5 ⑤	後年度	石垣市スジアラ養殖産業創出事業	H29	石垣市は海洋都市いしがきを目指しており、様々な養殖漁業が盛んである。新たな石垣ブランドの開拓を図るため、沖縄県三大高級魚スジアラ陸上養殖整備に向けた基本設計を行う。	H30	本事業の調査結果を基に、事業の創出の可能性を検証していく。	事業の創出の可能性を検証した。	◎
03 石垣市	5 ⑦	後年度	漁船用衛星船舶電話通信機器設置補助事業	H25～H29	漁船への衛星電話を設置することにより、緊急時における漁協及び漁業者間の連絡体制を構築し、漁業者の人命・財産の保全、安全操業環境の確保を図る。	H30	漁業者と連絡をとることが可能であることを定期的に検証することで、緊急時の通信手段の確保が図られているかを確認する。	漁業者と連絡をとることが可能であることを定期的に検証し、緊急時の通信手段の確保が図られていることを確認した。	◎
03 石垣市	2 ④	後年度	石垣市風景計画改訂検討事業	H27～H28	魅力的な石垣島の風景を保全・創出するために、社会情勢の変化を踏まえ、石垣市風景計画の改訂を行う。	H30	本事業の調査結果を基に、魅力的な風景の保全・創出を目的とした事業の実施につなげる。	魅力的な風景の保全・創出を目的とした事業の実施につなげた。	◎
04 浦添市	4 ③	後年度	浦添市観光振興計画策定事業	H28～H29	顕著に推移する沖縄県の観光産業を下支えするため、浦添市の観光振興の指針となる浦添市観光振興計画策定を行う。	R2	浦添市観光振興計画に基づき、観光誘客を目的とした事業の実施につなげる。	-	-
04 浦添市	5 ②	後年度	浦添市企業立地・雇用施策方針策定事業	H28～H29	本市の雇用環境の状況を把握し、雇用施策の改善・充実を図るため、社会的に流動的な雇用情勢に対応した中期的計画となる「企業立地雇用施策方針」を策定する。	R2	企業立地雇用施策方針に基づき、雇用施策の実施につなげる。	-	-
04 浦添市	12 ⑤	後年度	施設型共同墓整備事業	H27～H29	市民の墓地需要に対応するとともに、新たな墓地建設の抑制及び点在する既存墓地の集約化を図る施設として、3,465壇の納骨壇と多数の遺骨を埋蔵することが可能な合葬室を備えた新しい形態の公営墓「浦添施設型共同墓」を整備する。	H30	年間施設利用者件数 154件	年間施設利用者件数 298件	◎
04 浦添市	6 ③	後年度	那覇港(泊ふ頭)陸上電力供給施設整備事業	H28	観光客を受け入れる港として、停泊中の船舶からの排気ガス削減や騒音を抑制し、快適な環境の確保を図るため、泊ふ頭に陸上電力供給施設を整備する。	R3	観光客を受け入れる港として快適な環境が確保されていると感じるか(80%以上)を含め、船舶運航事業者へのアンケートを行い、本事業のあり方を検証する。	-	-
04 浦添市	6 ④	後年度	冷凍冷蔵コンテナ用電源整備事業	H28～H29	新港ふ頭の国際コンテナターミナルに設置されている、冷凍食品等低温輸送用コンテナのためのリーファー電源を増設することで、年々増大している冷凍冷蔵コンテナ需要に対応し、那覇港における取扱貨物量の増加を図る。	R3	那覇港のリーファーコンテナの取扱貨物量の増加 76万トン	那覇港のリーファーコンテナの取扱貨物量の増加 H29:70万トン、H30:71万トン	-

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
 「R1年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	H30年度成果実績(指標)	評価
05 名護市	1	⑧ 後年度	地域と子どもたちが音楽でつながる楽器整備事業	H29	吹奏楽部の楽器が不足しており、十分な練習活動ができない状況にある。部員の音楽に対する意欲の向上を図るため、市内小・中学校に楽器を整備する。	H30	楽器の配置によって部員の音楽に対する意欲が向上したか(80%以上)	楽器の配置によって部員の音楽に対する意欲が向上したか98%	◎
05 名護市	2	④ 後年度	やがじ夢の懸け橋事業	H27 ~ H29	地域観光産業の振興や定住促進を目指して、同地域におけるツーリズムに関する地域振興計画を策定するとともに、民泊事業者と連携したモニターツアー、ワークショップ等を実施する。	R2	修学旅行受入校数:140校	修学旅行受入校数:83校	-
05 名護市	2	⑧ 後年度	名護市21世紀の森ビーチ整備促進事業	H29	ハブクラゲ侵入防止ネットを改善することにより、ハブクラゲから市民や観光客を守り、安心して海のレジャーを楽しめるように取り組む。	H30	ハブクラゲによる被害者数:0人	ハブクラゲによる被害者数:2人	未
05 名護市	4	② 後年度	豊原・久志地区光ケーブル地中化事業	H29	台風等の災害時において、光ケーブルの切断を防止するため、みらい3号館からみらい4号館の区間に、光ケーブルを地中化するための地下管路を整備する。	H30	みらい3号館、4号館の光ケーブルの断線回数:0件	みらい3号館、4号館の光ケーブルの断線回数:0件	◎
05 名護市	4	③ 後年度	名護市超高速通信サービス整備事業	H28 ~ H29	超高速ブロードバンドサービスによる久辺地域の利便性の確保のため、超高速ブロードバンド環境の整備に対し補助を行う。	H30	久辺地域における超高速ブロードバンドサービス利用:20%	久辺地域における超高速ブロードバンドサービス利用:26.9%	◎
05 名護市	6	③ 後年度	水難救助車等整備事業	H28 ~ H29	近年増加するリゾートホテルや海上レジャー等における市民や観光客等の水難事故等に迅速な初動対応を強化すべく、水難救助車一式をはじめ、牽引車、トレーラー、水上バイク等を整備することで安全安心で観光に強いまちを形勢する。	H30	水難救助体制の強化:(署合同訓練3回、隊別訓練49回、他機関との合同訓練2回の実施における活用)訓練合計54回	水難救助体制の強化:訓練合計62回	◎
05 名護市	7	後年度	名護市地域公共交通基礎調査事業	H29	新たな公共交通システムに対応し、地域内滞在者の利便性向上及び産業の振興を図るため、本市における公共交通の現状把握及び課題等の調査を行う。	H30	路線バス再編等の会議において本調査結果を活用する。	・H30年5月に開催した名護市バス対策会議において、本調査結果を基礎資料として活用した。	◎
05 名護市	2	⑥ 後年度	真喜屋運動広場整備事業	H24 ~ H28	真喜屋運動広場において様々なスポーツが快適かつ安全に行えるよう拡張整備を実施し、スポーツコンベンションの開催や、合宿利用等にも対応できるよう多目的広場としての利用環境を改善する。	H30	年間利用者数:14,000人	年間利用者数:9,370人	未
05 名護市	5	③ 後年度	名護市食鳥処理施設整備事業	H28	新たな食鳥処理施設の整備に必要となる用地を取得することによる事業環境の整備を通じ、食肉処理施設の再編や県内鶏肉の衛生・品質管理の高度化を促進する。	R5	【H35成果目標】 処理羽数:17,000羽/日	H30年度工事実施	-

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R1年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	H30年度成果実績(指標)	評価
06 糸満市	1 ⑤	後年度	大度園地・周辺海岸総合整備事業	H29	国際人として活躍した先人ジョン万次郎の上陸の地に記念碑を建立することで、国際的な人材育成に向けた環境整備及び啓発をしつつ、大度園地・周辺海岸特有の歴史や自然環境の観光資源化を図る。	H30	来訪した学生等へのアンケート調査等を実施し、「将来、国際的に活躍したい」と回答した人の割合(80%以上)を含め、本事業の在り方を検証する。	来訪した学生等へのアンケート調査等を実施し、「将来、国際的に活躍したい」と回答した人の割合51.9%	未
06 糸満市	9 ②	後年度	パークゴルフ場整備事業	H27～H28	身近で手軽に行える運動に触れる機会を提供することで、生涯スポーツ人口の増加に努め、スポーツアイランド沖縄の取り組みを一層充実させるため、生涯スポーツ施設等の整備を行う。	H30	利用者数H29年度は(11月～3月)8,125人	利用者数H29年度は(11月～3月)3,893人	未
06 糸満市	9 ③	後年度	西崎みどりの遊歩道整備事業	H27～H28	観光地としての魅力向上及びウォーキングコースとしての活用による生涯スポーツの推進を図るため、西崎工業団地海岸沿いを周遊できるよう遊歩道を整備する。	H30	平成30年度遊歩道年間利用者数:28,000人/年	平成30年度遊歩道年間利用者数:28,100人/年	◎
07 沖縄市	1 ⑩	後年度	文化財整備事業	H24～H33	貴重な文化資源の保存・活用による観光を創出するため、経年劣化による破損が著しい「奉安殿」と「忠魂碑」の修復等をおこなうとともに、見学通路など周辺環境整備を実施する。 また、各地域における文化財の周知等を図るため説明板等を設置する。	H30	見学者等を対象に文化財の魅力向上を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業の在り方について検証する。	見学者等を対象に文化財の魅力向上が図られたかについて、肯定的な回答 87.5%	◎
07 沖縄市	2 ③	後年度	スポーツ推進整備事業	H24～H29	スポーツ環境を活かした観光を推進するため、沖縄市総合運動公園内にある沖縄市総合運動場体育施設の機能強化に取り組み、プロスポーツや各種大会等、施設利用の促進を図る。	H30	・沖縄市体育館プロスポーツ観覧者数 109,400人 ・プロ野球キャンプ観覧者数 19,100人	・沖縄市体育館プロスポーツ観覧者数 105,313人 ・プロ野球キャンプ観覧者数 29,490人	○
07 沖縄市	10 ①	後年度	コミュニティパーク整備事業	H24～H28	市民の健康づくりや地域住民相互の交流等を促進するため、地域住民の意見・ニーズを反映させた実施設計をもとに、誰もが快適に健康づくりを行える公園整備工事を実施する。	H30	公園利用者を対象に、当該公園を利用することで、疾病予防や健康増進につながったか、アンケートを実施し効果を確認する。 ・肯定的な回答 80%(H30年度) 80%(R1年度)	公園利用者を対象に、当該公園を利用することで、疾病予防や健康増進につながったか、アンケートを実施し効果を確認する。 ・肯定的な回答 - (H30年度)	-
08 豊見城市	1 ⑦	後年度	豊見城市景観重点地区調査検討事業	H28～H29	市景観計画に基づき、本市の自然や歴史・文化資源などの地域資源をまもり、育て、豊見城らしい景観まちづくりを推進し、地域資源を活用した新たな観光資源の創出や地域の活性化を図るため、景観重点地区(モデル地区)の指定に向けた、調査・検討を行う。	H30	本事業の調査検討結果を踏まえ景観重点地区の指定に向けた取り組みにつなげる。	重点地区指定	◎

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R1年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	H30年度成果実績(指標)	評価
09 うるま市		中期的	生涯学習・文化振興拠点整備事業	H24～H28	当市には、エイサーをはじめ、闘牛、ウスデーク、獅子舞、豊年祭など多種多様な伝統文化・行事が残されている。それらは「うるま市ならではの」地域資源である。それらを活用した文化振興及び生涯学習を振興するための拠点施設を整備する。	H30	年間利用人数:130,000人	年間利用人数:276,504人	◎
09 うるま市	7 ④	中期的	農水産業振興戦略構築及び拠点施設整備事業	H24～H29	当市は第1次産業が盛んな地域である。地域特性を発揮し、農水産業の6次産業化を推進するため、マーケットや複合施設の運営等に精通している民間事業者等と連携し、農水産業の戦略的展開を構築するとともに、豊かな農水産物の加工・流通施設、直売所及びレストラン等を併せ持つ複合施設を整備する。	H30	出荷生産者全体の収入額:399百万円	出荷生産者全体の収入額:79百万円	未
10 宮古島市	8 ①	後年度	博物館収蔵品目録等作成事業	H24～H29	宮古島市総合博物館に収蔵されている資料の幅広い活用を図るため、収蔵資料の整理、データベース化、デジタル化及び図録等の作成を行う。	R1	【H30成果目標】 年間入館者数 15,000人	【H30成果実績】 年間入館者数 15,225人	◎
10 宮古島市	8 ②	後年度	博物館基本計画策定事業	H29	宮古島市の歴史・自然・文化等の保存・収集・発信を行う総合博物館の機能強化、体制強化を図り、地域や観光客の声により応えることが出来る宮古島市総合博物館建設に向け、基本構想に基づいた基本計画を策定する。	H30	【H30成果目標】 本事業にて策定された博物館基本計画を踏まえ、新たな総合博物館建設につなげる。	【H30成果実績】 未完了	未
11 南城市	1 ⑥	後年度	南城市観光振興計画策定事業	H28～H29	平成30年度から10年間の観光施策を検討するにあたり、これまでの施策の検証を行なうとともに、各種アンケート調査等の基礎調査を行い、中核地を拠点とした南城市らしい観光振興計画を策定する。	H30	観光振興計画に基づき、各種施策を実施する。	観光振興計画に基づき、各種施策を実施した。	◎
11 南城市	1 ⑩	後年度	南城市海岸線景観魅力アップ推進事業	H28～H29	沖縄本島南部には、多くの様々な観光スポットが点在しており、観光客の多くは、東海岸の青い海を眺望しながら爽快にドライブし本市を訪れている。訪れた観光客がまた訪れたい魅力ある美しい景観(高台からの眺望、移動景観)の創出に取り組む。	H30	本市の海岸線からの眺望について、「観光地として魅力的な景観となっているか」(80%以上)を含め、本事業のあり方を観光客を対象としたアンケートで検証する。	本市の海岸線からの眺望について、「観光地として魅力的な景観となっているか」について、観光客からの肯定的な回答:96.1%	◎
11 南城市	1 ⑬	後年度	観光交流サイン整備事業	H25～H29	来訪者にとってわかりやすい誘導案内や周辺案内、解説板、名称板等のサインを整備することにより、スムーズな案内誘導を進めるとともに都市景観の向上や、歴史文化遺産の顕在化と魅力の充実、市民と来訪者との交流促進、観光の振興を図る。	H30	サイン整備集落での市民・来訪者への集落案内参加者にアンケートを実施し、わかりやすく、スムーズな案内誘導が行われたか(80%以上)を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する。	サイン整備集落でわかりやすく、スムーズな案内誘導が行われたかについて、市民・来訪者からの肯定的な回答:67.9%	○

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
 「R1年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	H30年度成果実績(指標)	評価
11 南城市	2 ①	後年度	耐候性野菜栽培施設整備事業	H27～H29	農家の生産性向上を図るため、気候条件に生産量を左右されにくい耐候性ハウス(パイプハウス)の整備費用に対する補助を行う。	H30	耐候性ハウスを整備したことによる生産量の増加:27t	耐候性ハウスを整備したことによる生産量の増加:6.1t	未
11 南城市	5 ②	後年度	文化センター機能強化事業	H25～H29	来場者の満足度向上及び来場者数の増加を図るため、文化芸術発信の拠点である文化センター・シュガーホールの機能強化を実施する。	H30	・屋外ステージを活用した新規イベント等における来場者へのアンケートで満足度(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。 屋外イベントの来場者数2,290人以上	・満足度について、屋外ステージを活用した新規イベント等における来場者からの肯定的な回答:67% 屋外イベントの来場者数:2,500人	○
11 南城市	1 ④	後年度	観光振興将来拠点地整備事業	H25～R1	本県南部地域及び本市の体験交流・滞在型観光の促進等、新たな観光振興に向け、空港や沖縄自動車道、那覇市からの交通アクセスが大きく改善される南部東道路に周辺地に於いて、公共駐車場や観光情報施設(宿泊施設・レンタカー営業所等)の誘致、各種イベント等との連携を強化し、観光交流拠点の形成を行う。	R2	駐車場利用者の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該駐車場のあり方について検証する。	-	-
12 国頭村	1 ①	後年度	国頭らしい景観計画策定事業	H28～H29	「国頭らしい景観計画」を策定するため、説明会又はパブリックコメントの実施、委員会の開催、景観行政コーディネーター県外研修参加を行い、自然豊かな地域の保全・活用や国立公園・世界自然遺産登録の動きに対応する。	R1	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、観光客や村民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	-	-
12 国頭村	3 ①	後年度	やんばるの森拠点施設活用推進事業	H29	国頭村森林公園の顧客ニーズの把握、施設の課題調査、施設の管理運営方法の提案、今後の施設整備の概略予算の算定を行い、やんばるの森の拠点施設として活用するための管理運営方針を策定する。	R3	国頭村森林公園の来場者数:24,317人以上	国頭村森林公園の来場者数:19,965人	-
12 国頭村	6 ④	後年度	小・中学校空調設備整備事業	H24～H29	小中学生の健康維持や学習意欲の向上を促すため、小学校2校(3室)及び中学校1校(2室)の空調設備を整備する。	H30	屋内の暑さによる体調不良児童生徒数:0人	屋内の暑さによる体調不良児童生徒数:0人	◎
12 国頭村	8 ②	後年度	奥区地域づくり計画策定事業	H27～H29	「地域づくりゆんたく会」の開催やツアープログラムメニューの開発による具体的手法の確立及び実施体制の構築を図るため、事業の具体化に向けた取組の実施や3ヶ年の事業を通じて得られた地域づくりにおける課題等を整理する。	R3	イベント・ツアーへの参加者数:272人以上	イベント・ツアーへの参加者数:21人	-
12 国頭村	1 ⑤	後年度	観光地の施設整備促進事業	H28	野外公衆トイレ・シャワー等の施設を整備することによる観光客の利便性向上を図るため、建築設計、建築工事、施工監理業務を実施する。	H30	利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のアンケートにより本事業のあり方の検証を実施	利便性が確保されたかについて、肯定的な回答:100%	◎

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R1年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	H30年度成果実績(指標)	評価
12 国頭村	6 ⑥	後年度	小・中学校空調設備整備事業	H24 ～ H29	亜熱帯気候である沖縄は、年間を通して高温多湿な状況が長期間続く地域である。小中学生の健康維持や学習意欲の向上を促す必要があるため、空調設備を整備する。	H30	屋内の暑さによる体調不良児童生徒数:0人	屋内の暑さによる体調不良児童生徒数:0人	◎
14 東村	1 ①	後年度	東村観光産業人材育成事業	H26 ～ H29	/村内の観光関連事業所と連携のもと、観光入込客数の増加及び受入体制の強化、奄美・琉球世界自然遺産登録に向けインタープリター(自然ガイド)の育成に努める。	H30	・インタープリター(自然ガイド)育成 ・村内入域観光客数316,000人以上	・0名 ・350,024人	未
14 東村	2 ②	後年度	教育用ICT機器導入事業	H29	進展する情報化社会へ対応出来る人材を育成するため、中学校へICT機器を導入し、知識や情報、技能習得や学力向上を図る。	H30	ICT機器の活用により、情報端末操作技術等のスキルアップが図られたか(80%以上)を含め、対象生徒へアンケート調査を実施した。目標80%	96%	◎
15 今帰仁村	2 ⑥	後年度	今帰仁村総合運動公園施設機能強化事業	H24 ～ H29	既存の施設を活用し、スポーツによる交流など今帰仁村を目的地とするよう観光の通年化を図るため、総合運動公園の施設機能を強化する。今年度は住民の福祉に資するため遊具等を設置する。	R4	・合宿団体数(本施設内クラブハウス) 23団体 ・施設利用者満足度(80%)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。	・合宿団体数(本施設内クラブハウス) 20団体 ・施設利用者満足度 99%	○
15 今帰仁村	2 ⑦	後年度	村営闘牛場機能強化整備事業	H28 ～ H29	沖縄の伝統興行である「闘牛」を後世へ継承していくために、闘牛大会を定期開催し、地元の闘牛ファンのみならず県外観光客を呼び込む観光資源として有効活用し伝統興行の活性化を図るため、村営闘牛場の機能強化を行う。	H30	・年間来場者数 1,500人	・年間来場者数 1,568人	◎
16 本部町	1 ⑤	後年度	観光漁業実証調査事業	H26 ～ H29	本町の有する水産資源の魅力に触れる体験型観光プログラムの構築を図るため、中層型浮漁礁等を活用した実証試験を行う。観光協会、漁業協同組合と連携し受入体制の強化を図り、「ここでしか味わえない」をキャッチフレーズに観光地としてのブランド力を向上させる。	H30	体験観光プログラム利用客数:396人以上	体験観光プログラム利用客数:445人	◎
16 本部町	1 ⑦	後年度	本部町フクギ集落整備事業	H25 ～ H29	本部町の北部地域は、フクギ並木などで有名な観光名所であり、観光地としてふさわしい景観形成を図るため、観光集落基本構想・計画の策定、フクギの剪定、備瀬地区のフクギ集落の排水・舗装・案内板・散策路等の整備を行う。	H30	観光客へのアンケートにより観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め検証を行う	観光客へのアンケートにより観光地としてふさわしい景観であると回答した割合 83%	◎
19 金武町	1 ④	後年度	金武町陸上競技場3種公認事業	H29	認定更新に必要な競技場の整備及び必要備品を整備することで、大会や合宿等の受入が可能となり、沖縄県の陸上競技振興に寄与するとともに本町の観光振興に資する。	R1	・大規模な陸上競技大会受入 1件 ・陸上競技団体の合宿受入 1件	-	-

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
 「R1年度以降に効果発現する事業」・・・「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	H30年度成果実績(指標)	評価
19 金武町	1 ⑤	後年度	金武町ノベルティーグッズ作成事業	H29	金武町の特産品等をデザインしたノベルティーグッズを作成し、観光客等に配布することにより、町の情報発信を図る。	H30	平成29年度金武町観光ポータルサイトのアクセス件数から10,000件の増加を図る	平成29年度金武町観光ポータルサイトのアクセス件数から 24,631件増加	◎
19 金武町	8 ①	後年度	認定こども園等業務効率化推進事業	H29	認定こども園等に、保育・教育の質の向上を図るための業務の効率化を図るシステムと、事故の発生防止のためのビデオカメラの導入を行う。	H30	・業務効率化システムの目標を以下のとおりとする。認定こども園等での午睡時間の設定1歳児 2時間30分 ・業務効率化システムの目標を以下のとおりとする。認定こども園等での午睡時間の設定2歳児 2時間 ・業務効率化システムの目標を以下のとおりとする。認定こども園等での午睡時間の設定3歳児1時間30分 ・業務効率化システムの目標を以下のとおりとする。認定こども園等での午睡時間の設定4歳児1時間 ・ビデオカメラ導入による目標を以下のとおりとする。 事故発生件数0件	・業務効率化システムの目標を以下のとおりとする。認定こども園等での午睡時間の設定1歳児 2時間30分 ・業務効率化システムの目標を以下のとおりとする。認定こども園等での午睡時間の設定2歳児 2時間 ・業務効率化システムの目標を以下のとおりとする。認定こども園等での午睡時間の設定3歳児1時間30分 ・業務効率化システムの目標を以下のとおりとする。認定こども園等での午睡時間の設定4歳児1時間 ・ビデオカメラ導入による目標を以下のとおりとする。 事故発生件数0件	◎
19 金武町	9 ①	後年度	安全・安心に暮らせる地域づくり事業	H29	公園及び隣接住宅地域の防犯対策のため、公園内の防犯灯の機能強化を行う。	H30	犯罪件数を28件以下にする。	犯罪件数 31件	未
20 伊江村	3 ①	後年度	墓地整備基本計画策定事業	H29	沖縄独自の個人墓地の散在化、土地利用等への支障、景観の悪化を防止するため、現状の調査、許可区域の選定、運営方針等の基本計画を策定する。	R3	令和3年度までに村営墓地の地域選定を実施し、墓地の集約化を目指して指定した墓地での墓地契約8件/年以上を目指す。	指定した墓地での墓地契約5件/年	-
20 伊江村	5 ①	後年度	伊江村アジア野菜生産販売事業	H27 ~ H29	村内で生産されたアジア野菜の今後の生産及び販売の計画を策定するとともに、受発注業務体制確立の構築準備を行うため、平成28年度までの調査による栽培マニュアルの検証を引き続き行い、強化型パイプハウスで栽培した選定品目の試験出荷を行う。	H30	アジア野菜を活用した加工商品及び菓子類の開発(各1品)	加工商品の開発1品 菓子類の開発:1品	◎
20 伊江村	6 ①	後年度	花卉振興対策事業	H29	冷蔵輸送車及び自動結束機付き重量選別機を整備することにより、安定的な花卉輸送体系等を確保し、本村の花弁振興を図る。	H30	大菊・小菊・スプレー菊の合計生産量の増加率:対前年度比 5%以上	大菊・小菊・スプレー菊の合計生産量の増加率:対前年度比 -5.9%	未
20 伊江村	8 ①	後年度	鮮魚輸送強化事業	H29	本村で水揚げされる鮮魚類を県内外へ輸送・出荷する為、空輸用のコンテナや、海上輸送用のコンテナ、輸送用活魚タンクコンテナを整備し、漁業振興を図る。	R1	県外への輸送コストの軽減マイナス10円/kg 255円/kg (参考) H28年度 265円/kg	県外への輸送コスト 618円/kg	-

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R1年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	H30年度成果実績(指標)	評価
20 伊江村	8 ②	後年度	水産物荷捌き施設強化事業	H29	現在利用している荷捌き施設において、近年多く水揚げされるソデイカの水揚げ作業を効率的に行うための機械の導入を行い漁業振興を図る。	H30	機械の導入後の水揚げ作業の時間短縮：一隻当たり30分短縮	機械の導入後の水揚げ作業の時間短縮：一隻当たり30分短縮	◎
20 伊江村	9 ⑤	後年度	伊江村観光振興基本計画策定事業	H29	本村の総合的な観光振興を中長期的に推進していくために基本計画を策定する。 また、伊江村観光振興推進協議会において、村観光の現状と課題の分析、民泊事業、観光資源と特産物や農産物を含めた地域資源の掘り起し、スポーツコンベンションやインバウンド対応など、地域の魅力を最大限に活かした観光戦略を多角的に構築する。	R3	入域観光客数 158,000人/年 (参考) H27年度 136,000人/年	入域観光客数 127,754人/年	-
21 読谷村	1 ⑤	後年度	読谷村地域振興センター機能強化事業	H28～H29	読谷村の観光振興を担う施設である、読谷村地域振興センターの機能を強化し、更なる観光振興を図る。	H30	年間利用者数168,000人	年間利用者数191,596人	◎
21 読谷村	3 ①	後年度	米軍施設返還に伴う雨水排水増加の既設水路現況調査及び排水計画策定事業	H28～H29	読谷村では、返還後の跡地利用計画を策定し土地利用を進めているところであるが、その結果、既設水路の能力を超える排水が流れ込み下流側において、道路冠水や家屋への床上浸水・床下浸水が発生している。これらの既設水路の能力を評価するとともに必要な排水計画を策定することで、返還軍用地の本格的な跡地利用を円滑に実施するための基礎資料とし、生活環境の改善を図る。	H30	【R3年度】 計画に基づき設計、工事を着手	事業認可協議 都市計画決定 図書作成	-
21 読谷村	3 ②	後年度	トリイ通信施設跡地「大木・大湾地区」区画整理事業調査事業	H28～H29	トリイ通信施設跡地の跡地利用を図るため、トリイ通信施設跡地「大木・大湾地区」の区画整理事業に向けた施行地区の設定、区画整理設計、事業計画の作成、実施計画の作成を行う。	H30	地権者の合意形成を行い、区画整理事業に向け組合設立の認可を受ける。	-	-
21 読谷村	6 ①	後年度	地産地消推進を図る生産施設設置事業	H25～H29	年間を通した多様な野菜を安定的に生産できる環境の構築により、地域の消費需要(直売所、ホテル、飲食店など)への対応や、「食と農」を通じた地域観光のイメージアップや農業振興を図ることを目的として、JA等が設置する栽培施設の設置費の一部を支援する。	H30	収穫量：7.69t	収穫量：5.93t	○
22 嘉手納町	1 ⑤	後年度	嘉手納町観光客受入体制整備事業	H26～H29	嘉手納町観光振興基本計画に基づき、観光振興の基盤となる観光ガイドの確保・育成を図るため、嘉手納町観光ガイド育成講座等を実施する。	H30	ガイド利用者への満足度調査を実施し、ガイドの案内に満足したか(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	ガイド利用者への満足度調査を実施し、ガイドの案内に満足したと回答した割合 100%	◎
22 嘉手納町	1 ⑥	後年度	かでな文化センター機能向上事業	H24～H29	町民、県民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動を行う場の確保を図るため、かでな文化センター施設の機能強化を行う。	H30	かでな文化センターの利用者数 46,000人以上	かでな文化センターの利用者数 43,499人	○

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
 「R1年度以降に効果発現する事業」・・・「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	H30年度成果実績(指標)	評価
22 嘉手納町	1	⑦ 後年度	嘉手納町観光振興推進事業	H29	本町の観光現状等を踏まえた観光振興の課題を明らかにし、今後の観光振興の方向性を示すため、嘉手納町観光振興基本計画の策定を行い、観光誘客を図る。	H30	嘉手納町観光振興基本計画に基づき、観光誘客を目的とした事業の実施につなげる。 (参考:H36町来訪者数 100万人)	観光誘客を目的とした事業の実施につなげた。	◎
22 嘉手納町	5	① 後年度	嘉手納町防犯灯・街路灯LED化事業	H26～H29	温室効果ガスの排出量を削減するため、町内に設置されている防犯灯・街路灯(933基)をLED照明に切り替える。	H30	町内の防犯灯・街路灯をLED化することによる年間のCO2排出削減量 ・CO2排出削減量 231,680kg-CO2/年	・CO2排出削減量 231,680kg-CO2/年	◎
22 嘉手納町	7	③ 後年度	嘉手納町地域防災計画整備事業	H29	災害時における町民及び来町者の安全確保を図るため、避難行動・避難誘導及び避難所設置運営等の方針となる地域防災計画を策定する。	H30	地域防災計画を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することで、防災知識の普及・啓発を行い、災害時における安全が確保されていると感じるか(80%以上)を含め、訓練参加者等を対象としたアンケート調査を行うことで、当該事業のあり方を検証する。	災害時における安全が確保されていると感じると回答した割合 80%	◎
23 北谷町	1	⑤ 後年度	北谷公園野球場ブルペン整備事業	H29	本町のスポーツコンベンション誘致と次世代を担う若者の人材育成への寄与を目的に、野球場ブルペン(投球練習場)の新設を行い、運動施設の機能及びスポーツコンベンション施設のポテンシャルの向上を図る。	R4	【H30成果目標】 ・プロ野球キャンプ実施件数 1件 ・スポーツ合宿誘致件数 6件	【H30成果実績】 ・プロ野球キャンプ実施件数 1件 ・スポーツ合宿誘致件数 4件	○
24 北中城村	8	② 後年度	中城間切ノロ関係資料集作成事業	H25～H29	平成28年度に発行した本巻や、これまでに収集した資料及び調査成果をもとに、平易な表現や写真・図版主体に再構成し、『中城間切ノロ関係資料集(仮)普及版(ビジュアル版)』として発行する。	H30	普及版利用者に対しアンケート調査を実施し、村の歴史への理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。目標80%	75%	○
24 北中城村	1	② 後年度	歴史文化散策路ネットワーク整備事業	H24～H29	誘客を図るため、世界遺産「中城城跡」を核として、村内にある歴史文化遺産の活用と、村の魅力を発信するとともに、徒歩で周遊できる散策路整備を実施する。実施箇所は、喜舎場・仲順地区とする。	H30	本事業により、整備を行った散策路について、観光客等の利用者へのアンケート調査を実施し、歴史を感じて歩くことができたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。目標80%	76%	○
25 中城村	1	① 後年度	防災行政無線機能強化事業	H27～H29	地震・津波等の大規模災害時や、台風・大雨などの災害時等に、地域住民等に各種防災情報を迅速かつ確実に伝達するため、アナログ子局のデジタル子局化の整備を行い、防災行政無線の機能強化を図る。	H30	デジタル防災行政無線及び相互通信システムを活用した、避難訓練(2回以上/年)を実施し、訓練時に防災無線放送・通信が伝達されたか(100%)を、アンケートにより確認し、本事業のあり方を検証する。	デジタル防災行政無線及び相互通信システムを活用した、避難訓練(2回) 訓練時に防災無線放送・通信が伝達されたか(97%)	○
25 中城村	2	⑥ 後年度	中城村観光振興計画策定事業	H29	観光誘客を図るため、中城村の観光の現状や課題等の整理及び中城村における観光振興の方針を検討し、観光振興計画の策定を行う。	H30	【H30年度成果目標】 策定した観光振興計画に基づき各種施策につなげる。	施策の実施	◎

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
 「R1年度以降に効果発現する事業」・・・「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	H30年度成果実績(指標)	評価
25 中城村	2 ⑧	後年度	中城村振興対策推進事業	H29	吉の浦周辺一帯を村の振興拠点として引き続き活用するため、吉の浦会館の敷地を購入する。	H30	会館年間利用者数41,000人	会館年間利用者数50,091人	◎
25 中城村	5 ②	後年度	村内文化財整備事業	H28～H29	中城村に存在する沖縄戦に関する遺跡「161.8高地陣地」の環境整備を行い、人々への周知を図り見学してもらうことで、沖縄戦の悲惨さを再認識するとともに平和への思いを深めてもらうため当該事業を実施する。	H30	161.8高地陣地を活用したイベント 来場者数: 150人以上	来場者数: 201人	◎
25 中城村	5 ③	後年度	文化財等展示機能強化事業	H29	沖縄の歴史・文化を次世代へ継承していくため、企画展等に活用する展示物や展示用備品等の整備を行う。	H30	・整備した展示物を活用した企画展示会の来場者数: 500人以上 ・整備した可動式展示ケースを活用した地域の小中学校への出張講座等に参加した児童生徒数: 100人以上	・整備した展示物を活用した企画展示会の来場者数: 5,268人 ・整備した可動式展示ケースを活用した地域の小中学校への出張講座等に参加した児童生徒数: 170人	◎
25 中城村	6 ②	後年度	護佐丸島むん農業活性化事業	H29	中城村の特産品島ニンジンの生産振興に向け、JAが整備する島ニンジン洗果機の整備費を支援し、農家の労働力の負担軽減を図り島ニンジンの生産向上を図る。	H30	・島ニンジンの出荷作業に関する負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、農家へのアンケートや聞き取り調査等により本事業を検証する。	・島ニンジンの出荷作業に関する負担感が軽減されたか: 100%	◎
27 与那原町	1 ⑥	後年度	大綱曳倉庫・作業場整備事業	H25～H28	仮設倉庫に一時保管している与那原大綱曳関連備品等の適切な保管、大綱の資材となる藁の保管及び綱作り作業場となる倉庫を建設する。	H30	本事業により整備した倉庫について、利用団体へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	与那原大綱曳まつり実行委員会各係の施設利用や藁の安全な保管、道具等の一元管理は可能となった。アンケート調査は内容の精査等準備不足で実施することができなかった。	未
28 南風原町	5 ②	後年度	幼稚園保育充実事業	H25～H29	保護者の負担軽減を図るため、安全な給食提供に必要な共同調理場、及び幼稚園の備品(食缶)等の設備を整備する。	H30	給食提供によって、保護者の負担軽減が図られたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより当該事業のあり方を検証する。	給食提供によって、保護者の負担軽減が図られたかについて、保護者からの肯定的な回答: 90%	◎
28 南風原町	4 ③	後年度	津嘉山小学校南側避難通路整備事業	H26～H29	津嘉山小学校の南側集落からの避難通路を整備するため、用地取得及び物件移転補償を行う。	R1	整備した避難通路を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	-	-
29 渡嘉敷村	1 ⑤	後年度	観光情報配信事業	H28～H29	観光客等の利便性を確保するため、観光情報等を港待合所等で効果的に発信できるようにデジタルサイネージを導入、また、予約システムと連動したクレジット決済可能な発券・精算システムを構築する。	H30	【H30成果目標】 観光客等を対象にアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(確保されたとの回答割合80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	【H30成果実績】 未実施	未

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R1年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	H30年度成果実績(指標)	評価
29 渡嘉敷村	5 ②	後年度	避難道整備事業	H29	津波等の災害発生時に、高台へ素早く避難できるよう避難道等の整備を実施し、防災体制の強化を図る。	H30	【H30成果目標】 村民及び観光客が参加する避難訓練時の避難に要する時間の短縮 (整備前24分→整備後20分以内)	【H30成果実績】 13分	◎
30 座間味村	3 ④	後年度	座間味村救急対応車両整備事業	H29	救急対応車両を導入することで、地域住民や観光客の安全性の確保を図る。	H30	搬送された本人や家族、付添い人に対して、安全性が確保されていたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する	搬送された本人や家族、付添い人に対して、安全性が確保されていたかアンケート調査 未実施	未
30 座間味村	3 ⑤	後年度	IP防災戸別受信機設置事業	H29	防災無線の放送が聞こえない難聴世帯等を対象に、戸別受信機を整備することで、防災体制の向上を図る。	H30	防災訓練を実施し、村全域において、放送・配信が確実に伝達されたか(100%)を、村民及び観光客等に対するアンケートにより確認し、本事業のあり方を検証する	防災訓練を実施し、村全域において、放送・配信が確実に伝達されたか100%	◎
31 粟国村	1 ③	後年度	大正池公園機能拡充事業	H27 ~ H29	野鳥観察ができる観光スポットとして機能拡充のため、階段、通路、野鳥観察施設を整備する。	H30	利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方をアンケートにより検証する。	利便性が確保されたかについて肯定的な回答 83%	◎
31 粟国村	4 ①	後年度	環境衛生処理事業	H28 ~ H29	循環型社会の形成を図るため、生ごみ処理機を導入し、生ごみの島内処理体制を構築する。	H30	島内の生ゴミ処理体制が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方をアンケートにより検証する。 ・肯定的な回答 80%(H30年度) 80%(R1年度)	島内の生ゴミ処理体制が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方をアンケートにより検証する。 ・肯定的な回答 - (H30年度)	-
33 南大東村	1 ④	後年度	南大東村遺体安置設備整備事業	H29	村内においての不慮の事故や孤独死など、死亡の原因が特定できない場合に検視の為、遺体を一時安置する必要がある。また遺体の保存のためには保冷库を利用して、腐敗を防止する必要があることから、保冷库および遺体安置所を整備する。	H30	一定期間安置が必要な遺体の発生時に占める活用率 100%	0%	未
33 南大東村	4 ②	後年度	南大東村移動式大型クレーン車整備事業	H29	南大東村は海岸周辺部が断崖絶壁となっていることから、出漁に際しては大型クレーンにより小型漁船を海面へ運搬する必要が生じる。このため急変する海上気象条件等、厳しい南大東島の漁業の現状に対応できる大型クレーンを導入した。	R4	・大型クレーン導入の完了後、漁業者の平均漁獲量(H30~R4の5カ年平均漁獲量 100t)	120t/年	◎
33 南大東村	1 ③	後年度	南大東村多目的交流拠点施設整備事業	H25 ~ H28	村民交流、伝統文化継承や人材育成、農漁村を中心とした各種研修をはじめ、観光客との交流を図るとともに、災害時には、村民及び観光客の避難施設として活用するため、村の多目的拠点施設を整備する。	H30	施設利用回数200回	396回	◎

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
 「R1年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	H30年度成果実績(指標)	評価
33 南大東村	1	④ 後年度	屋根付相撲場整備事業	H27 ～ H28	伝統ある江戸相撲、沖縄相撲をこれからも伝承していく必要がある為、練習場及び試合場を整備し、雨天でも常時使用できる屋根付相撲場を設置する。	H30	屋根付相撲場整備完了後の年間練習利用日数。	128日	◎
33 南大東村	5	① 後年度	南大東村環境保全・景観保全推進事業	H28	南大東村の環境、景観保全を保つ為、最終処分場施設に小型高速燃料焼却炉を設置し整備する。	H30	年間利用日数 150日	154日	◎
33 南大東村	6	① 後年度	安心安全強化対策事業	H25 ～ H28	自然災害発生時における住民や観光客の避難場所とする為、ゲートボール場として使われているスパーク南大東(屋内ゲートボール場)の機能強化を図る。	H30	避難訓練の際に避難場所として認知できた人の割合 目標:80%	100%	◎
34 北大東村	5	① 後年度	北大東村防犯・安全景観整備事業	H27 ～ H28	島を訪れる観光客や車両運転手・歩道歩行者等から街路灯・歩道照明の不足が指摘されており、防災・防犯・安全や景観整備の観点から街路灯・歩道照明の設置整備を行う。	H30	満足度調査結果80%以上	満足度調査結果88%	◎
36 伊是名村	2	③ 後年度	高齢者福祉施設整備事業	H28 ～ H29	離島における本村において、高齢者が住み慣れた地域において生活しやすい環境を整備すべく、近年の需要増加へ対応するため、村内唯一の高齢者福祉施設の機能強化を行う。	H30	増築した施設の稼働率 70%	増築した施設の稼働率 54.5%	○
37 久米島町	3	④ 後年度	久米島観光リゾート開発基本計画策定事業	H29	久米島町リゾート開発基本計画に向けての調査事業を行い、他の離島では味わえない長・短期間滞在者のための宿泊施設、観光施設、環境保全を調査し、実現可能な観光開発計画の基盤を策定する。	H30	リゾート開発基本計画に基づいた施策の実施	施策の実施	◎
37 久米島町	4	② 後年度	火葬場・葬祭場施設整備事業	H28 ～ H29	町民の安心安全な生活環境を確保するため、火葬場及び葬祭場を整備する。	H30	葬祭場利用件数 45件	60件	◎
37 久米島町	5	① 後年度	球美の島エコアイランド化推進事業	H24 ～ H28	低炭素島しょ社会の実現と自然豊かな環境に配慮した島づくりの推進を図るため、町内に設置されている水銀街灯のLED化事業等を実施する。	H30	CO2削減量 321,061kg-CO2	321,061kg-CO2	◎
37 久米島町	5	② 後年度	球美の島緑化推進事業	H24 ～ H28	久米島に自生している花や花木(クメノサクラ、ツツジ、椿、ショウキズイセン等)の保全を図るために、島の在来花木を年中楽しむことができる公園整備を実施する。	H30	観光地としてふさわしい景観形成が図られているか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 80%以上	85%	◎

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R1年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	H30年度成果実績(指標)	評価
38 八重瀬町	2 ⑤	後年度	八重瀬町戦跡整備事業	H25 ～ H29	八重瀬町の地域資源を活用するため、町内の戦争遺跡を整備し歴史・平和学習等へ活用する。	H30	戦跡公園の入場者数18,000名以上	戦跡公園の入場者数18,187	◎
38 八重瀬町	4 ②	後年度	八重瀬町「農と緑」地域活性化推進事業	H26 ～ H29	地域農業の活性化に向けて、体験農場や農業塾・教室を開き農業体験を通じて農業後継者や新規就農者の育成を行うことで、新規就農者の創出を図るため、八重瀬町種苗センターを整備した。	H30	新規就農者数13人以上 施設年間利用者数・体験農場年間利用者数4,600人	新規就農者数12人 施設年間利用者数・体験農場年間利用者数2,181人	○
38 八重瀬町	5 ①	後年度	避難誘導案内標識設置事業	H28 ～ H29	住民や本町を訪れる観光客等の安心・安全を確保するため、八重瀬町に適した避難誘導案内標識や避難所等を示す標識の設置を行う。	H30	避難標識の認知度80%以上 (地域避難訓練時の避難者アンケート調査による)	避難標識の認知度81%以上	◎
38 八重瀬町	6 ①	後年度	やえせのシーちゃん広場整備事業	H27 ～ H28	八重瀬町では土地区画整理事業による総合的な魅力を備えた交流拠点としての整備により、新たな中心市街地の形成のため、やえせのシーちゃん広場を整備する。	H30	広場を活用して実施するイベント来場者数10,000人	広場を活用して実施するイベント来場者数12,130人	◎
39 多良間村	2 ①	後年度	イネヨトウかく乱防除事業(フェロモンチュウブ)	H25 ～ H29	さとうきび生産安定と品質向上を図るため、フェロモンチュウブを設置し、交尾率を低下させることにより、イネヨトウの次世代密度の低下を図る。	H30	さとうきびの安定生産と品質向上の維持 収穫量 23,000t	さとうきびの安定生産と品質向上の維持 収穫量 24,956t	◎
40 竹富町	1 ⑦	後年度	竹富町緊急車両(消防車)導入事業	H28 ～ H29	消防団の防災対応力強化を図るため緊急車両(消防車)を導入し、地域住民の生活向上と、今後さらに増加する観光入域者の安全・安心な観光環境の整備を図る。	H30	避難訓練での利活用: 1回/年	避難訓練での利活用: 1回/年	◎
40 竹富町	2 ③	後年度	鳩間島野外ステージ周辺環境整備事業	H28 ～ H29	鳩間島に整備されている、鳩間島野外ステージ周辺に、出演者等控室及び公衆トイレを整備し、当該施設の利便性向上及び鳩間島を訪れる観光客や各種イベント使用時の地域住民等の観光満足度等向上を図る	H30	出演者及び来場者に利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	未実施	未
40 竹富町	4 ④	後年度	ピサダ道保存整備事業	H26 ～ H29	西表島祖納集落西側に隣接する「ピサダ道」は、現在も当時の石段がその姿を残す町指定史跡である。太平洋戦争時に大きく損傷した箇所についての復元整備要望が地域住民より上がっており、史跡復元の整備工事を実施する。	H30	申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	未実施	未
40 竹富町	2 ⑥	後年度	竹富島観光関連事業	H27 ～ H28	本町の主要観光地である竹富島カিজ浜の滞在時間の延伸及び訪れた観光客の利便性を図るため、隣接地に休憩所等を整備を実施し、観光満足度の向上を図る。	H30	観光客へのアンケートで利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方を検証する。	未実施	未

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R1年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	事業番号	検証年度	事業名	計画期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	H30年度成果実績(指標)	評価
40 竹富町	2 ⑦	後年度	ムシャーマ公園整備事業	H27 ～ H28	ムシャーマ公園は、島の伝統行事「ムシャーマ」の開催会場として、多くの地域住民及び観光客等が利用する場所である。また、祭日以外も多くの観光客の立ち寄り場所となっているが、公衆トイレ及び休憩所等がなく、多くの方々が不便をきたしている。このため公園内に、公衆トイレ及び休憩所等を整備しさらなる観光満足度等向上を図る。	H30	観光客・地域住民へのアンケートで利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方を検証する。	未実施	未
40 竹富町	2 ⑧	後年度	小浜島結願祭会場整備事業	H27 ～ H28	小浜島の結願祭は、国の重要無形民族文化財の指定を受けており、毎年多くの観光客及び地域住民が参加している。しかし、会場にある公衆トイレのお老朽化により、結願祭に参加する観光客及び地域住民に不便をきたしている。多くの方々の利便性等を向上を図るためにも会場内に公衆トイレの整備を行なう。	H30	設置した事業所、観光客に対して利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	未実施	未
40 竹富町	2 ⑪	後年度	竹富町キャッシュレス環境整備促進事業	H28 ～ H29	観光客等が宿泊施設や観光地での買物等の際に、手持ち現金の不足により消費機会を消失していることから、電子マネー、クレジットカード等のキャッシュレス決済で支払が行えるよう、町内事業所における決済環境の整備を推進し、観光客等の利便性向上を図る。	H30	設置した事業所、観光客に対して利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	未実施	未
40 竹富町	4 ⑤	後年度	文化財説明板整備事業	H27 ～ H31	町内に点在する指定文化財等についての認知度を高めてもらうため、文化財説明文を多言語(日本語、英語、中国語)にて掲示し、増加する国内外からの観光客の観光満足度向上を図る。	H30	本事業について、外国人を含む観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	未実施	未